

彫刻ワーキング部会の検討状況

令和 6 年 3 月



1. 令和5年度の彫刻WG部会の検討スケジュール

- 令和5年度の彫刻WG部会における主な検討内容は、下記のとおりである。

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
石彫刻工程 (概要)	造形検討・石膏原型等製作												
	加工・彫刻(急ぎの制作物)					加工・彫刻(その他の制作物)							
木彫刻工程 (概要)	彫刻材調達												
	下絵・石膏原型		彫刻(急ぎの制作物)					加工・彫刻					
彫刻WG部会		④5/17	⑤6/27	⑥7/26	⑦8/17	⑧9/22	⑨11/1						6回
彫刻WG部会 に係る 調査・監修等	4/8監修 礎盤、 天井額木	5/10監修 礎石、 地覆石	6/20・ 23監修 天井額木 6/27監修 礎石、 地覆石、礎盤	7/26監修 天井額木	8/9監修 金龍、御 差床龍柱 8/21監修 礎盤	9/25監修 小龍柱	10/5監修 礎盤		12/8監修 小龍柱、 御差床龍 柱	1/29監修 向拝奥の 牡丹・獅 子・唐草	2/22監修 向拝奥の 獅子		監修 のみ 記載

開催日	会議名等	主な検討内容
5/17	第4回WG部会	令和5年度中引き渡し予定の制作物(【No.24】2階 御差床 須弥壇(高欄含む)/【No.25】2階 御差床 龍柱/【No.26】2階 御差床 羽目板/【No.28】2階 内法額木/【No.29】1階、2階 台御差床/【No.30】国王専用階段内部手摺/【No.31】2階 外部手摺)の製作方針等の確認
6/27	第5回WG部会	石彫刻関係(【No.8】持送石/【No.7】石高欄/【No.6】親柱上の獅子/【No.5】小龍柱/【No.3】大龍柱/【No.4】大龍柱の台石)の検討
7/26	第6回WG部会	木彫刻関係(【No.15】向拝奥の彫刻物(牡丹に獅子・唐草)/【No.17】向拝奥の彫刻物(獅子)/【No.28】内法額木/【No.25】2階 御差床 龍柱/【No.26】2階 御差床 羽目板)の検討
8/7	第7回WG部会	木取りについて、石彫刻関係(【No.1】礎盤/【No.5】小龍柱/【No.3】大龍柱/【No.6】親柱上の獅子)の検討、木彫刻関係(【No.15】向拝奥の彫刻物(牡丹に獅子・唐草))の検討
9/22	第8回WG部会	石彫刻関係(【No.5】小龍柱)の検討、木彫刻関係(【No.13】入母屋破風懸魚/【No.15】向拝奥の彫刻物(牡丹に獅子・唐草)/【No.26】2階御差床 羽目板/【No.11】唐破風妻飾(臺股)/【No.28】内法額木)の検討、木取り等について
11/1	第9回WG部会	石彫刻関係(【No.3】大龍柱/【No.6】親柱上の獅子)の検討、木彫刻関係(【No.12】唐破風懸魚/【No.24】2階 御差床 須弥壇/【No.16】向拝奥の彫刻物(獅子)/【No.15】向拝奥の彫刻物(牡丹に獅子・唐草)/【No.26】2階御差床羽目板/【No.14】向拝透欄間)の検討
適宜	その他調整・監修	作業進捗にあわせて適宜、調査・調整・監修を実施

2. 石彫刻の進捗状況①（概要）

- 石彫刻及び石工事の進捗状況は、下表のとおりである。

番号	制作物名称	国への引渡期限	新たな知見	状況
1	礎盤（向拝の柱の礎盤、礎石含む）	令和5年9月頃	なし（前回踏襲）	国へ引き渡し済
2	礎石（外周柱用/内側柱用/束柱用）	令和5年7月頃	なし（前回踏襲）	国へ引き渡し済
3	大龍柱	令和8年4月頃	ねじれの表現など	石膏原型修正中 石材粗彫り中
4	大龍柱の台石	令和8年4月頃	なし（前回踏襲）	材料調達済
5	小龍柱	令和7年3月頃	腹板の数、 ねじれの表現 など	石膏原型製作済 石材大割り完了
6	石高欄及び登高欄 親柱上の獅子	令和7年3月頃	獅子の顔及び体の向き、 獅子の造形 など	石膏原型製作中
7	石高欄（親柱/束石/地覆石/羽目石/笠石）	令和7年3月頃	なし（前回踏襲）	材料調達済
8	持送石	令和7年3月頃	なし（前回踏襲）	材料調達済
9	地覆石	令和5年7月頃	なし（前回踏襲）	国へ引き渡し済
10	石階段（正面階段1、階段2,3,5,6,7,8）	令和7年3月頃	なし（前回踏襲）	材料調達済

2. 石彫刻の進捗状況② (国へ引き渡し済みの制作物)

- 【No.1】礎盤、【No.2】礎石、【No.9】地覆石は、製作を終え、国へ引き渡し済みである。

【No.1】礎盤

- 向拝柱を立てる基礎となる部材。蓮の彫刻を施す。
- 4セットを製作・引き渡し（10/5に最終監修し、10/10に引き渡し）。



【No.2】礎石

- 柱を立てるための基礎となる部材。
- 外周柱用38個、内部柱用53個、床束用14個の合計105個を製作・引き渡し（7月中下旬に順次）。



【No.9】地覆石

- 外周柱礎石の間に外壁に沿って据え付ける部材。
- 254個を製作・引き渡し（7月中旬に順次）。



2. 石彫刻の進捗状況③ (製作作業中の制作物)

- 【No.5】小龍柱は、新たな知見（胴体のねじれ）を踏まえて石膏原型を修正し、粗彫り中。
- 【No.3】大龍柱も同じく、新たな知見（胴体のねじれ）を踏まえて石膏原型を修正中。粗彫り着手済み。

【No.5】小龍柱

- 新たな知見として、胴体のねじれについて指摘あり。
- 胴体のねじれが確認できる森政三古写真（沖縄美ら島財団所有）に基づき、県立芸大により石膏原型を製作済み。
- 現在、石材の大割りが完了し、粗彫り中。



石膏原型 (2023.12/21撮影)



畔形の胴体ねじれ部分の拡大
(2023.12/21撮影)



大割りした小龍柱 (2024.2/2撮影)

【No.3】大龍柱

- 平成復元時に県博所蔵の遺物や古写真等をもとに造形しており、今回、より高精細化した古写真等により、大龍柱の造形の特徴について再確認した。
- 小龍柱の胴体のねじれは古写真で確認できており、新たな知見としての指摘のとおり、大龍柱の胴体もねじれていた可能性が高い。そこで、大龍柱の造形の特徴を踏まえ、全体造形への影響が少ない範囲で、胴体のねじれを表現する方針。現在、部分的に石膏原型を製作中。
- 粗彫り着手の様子を2/20にマスコミ公開。



粗彫り着手の様子 (2024.2/20撮影)

2. 石彫刻の進捗状況④（製作作業中の制作物）

- 【No.6】石高欄及び登高欄 親柱上の獅子については、新たな知見に基づき石膏原型を製作中。
- 【No.7】石高欄（親柱/束石/地覆石/羽目石/笠石）及び【No.8】持送石は、材料調達済み。

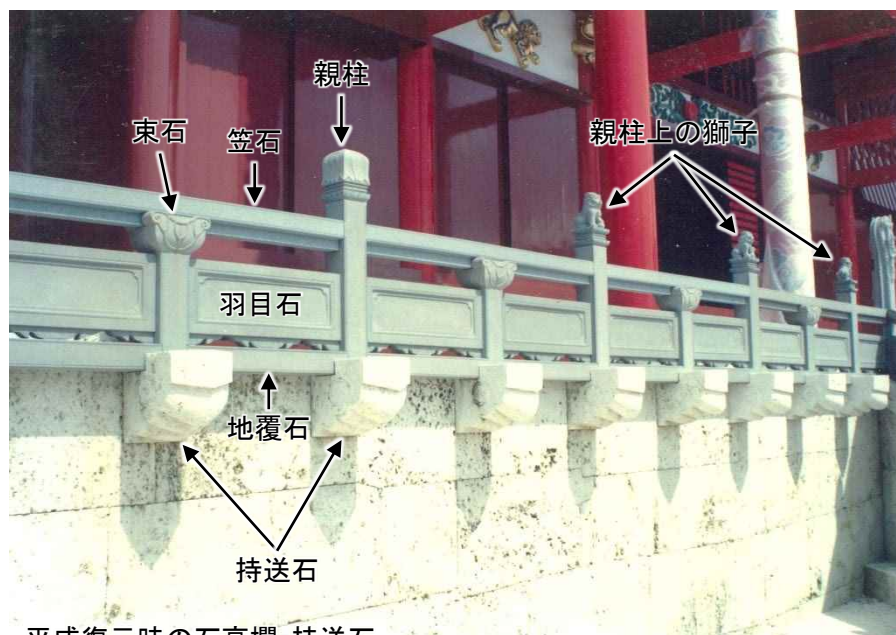
【No.6】親柱上の獅子

- 正殿正面の石階段及び基壇の石高欄の親柱のうち、階段部左右計6本、基壇部左右計6本の親柱には、上部に獅子が配置される（親柱と一体として造形）。
- 新たな知見として、獅子の姿勢（顔及び体の向きなど）及び参考にすべき石獅子（県立博物館・美術館所蔵）が示された。
- 彫刻WG部会において阿吽の有無などを検討し、県博美所蔵の石獅子を参考にしつつ阿吽で表情の差をつけることなどを決定。
- 現在、石膏原型を製作中である。



【No.7】石高欄（親柱/束石/地覆石/羽目石/笠石）

- 正殿正面の石階段及び基壇の高欄を構成する部材（親柱/束石/地覆石/羽目石/笠石）。
- 平成復元時の構成・造形を基本とする。
- 材料調達済み。現在、本製作に向けて、製作技術者で練習中。



平成復元時の石高欄・持送石

【No.8】持送石

- 正殿正面の基壇の高欄を構成する部材（持送石）。
- 平成復元時の造形を基本とする。
- 材料調達済み。

3. 木彫刻の進捗状況① (概要)

・ 木彫刻及び造作の進捗状況は下表のとおりである。 ※下線は彫刻WGにおける新たな知見

番号	制作物名称	国への引渡期限	新たな知見	状況
11	唐破風 妻飾 (火焰宝珠、蟬股、金龍、瑞雲)	令和7年1月頃	<u>龍の手足の火焰の形や蟬股の木取り・彫り方</u>	模型 製作中
12	唐破風 懸魚	令和6年6月頃	なし (前回踏襲)	材料調達済
13	入母屋破風 懸魚	令和6年4月頃	なし (前回踏襲)	製作中
14	向拝 透欄間 (牡丹唐草、獅子)	令和6年10月頃	なし (前回踏襲)	下絵 調整中
15	向拝奥の彫刻物 (牡丹に獅子・唐草)	令和7年1月頃	意匠に獅子も含まれていた等	下絵 検討中
16	向拝奥の彫刻物 (金龍)	令和7年1月頃	なし (前回踏襲)	粗彫り中
17	向拝奥の彫刻物 (獅子)	令和7年1月頃	獅子の大きさ・姿勢	下絵 製作中
24	2階 御差床 須弥壇 (高欄含む)	令和6年10月頃	親柱・しまこ柱の形状	材料調達済
25	2階 御差床 龍柱	令和6年10月頃	<u>胴体 (腹板) のねじれ等</u>	仕口等 加工中
26	2階 御差床 羽目板	令和6年7月頃	<u>栗鼠の姿勢 (漆器事例)</u> 、 <u>図案配置</u>	下絵 製作中
27	2階 天井額木	令和5年8月頃	<u>火焰宝珠の形態</u>	国へ引き渡し済
28	2階 内法額木	令和6年9月頃	<u>火焰宝珠の形態、龍の足の向き</u>	仕口等 加工中
29	1階、2階 台御差床	令和6年12月以降	なし (前回踏襲)	材料調達済
30	国王専用階段 (おちよくい) 内部手摺	令和6年12月頃	なし (前回踏襲)	材料調達済
31	2階 外部窓手摺	令和6年12月頃	なし (前回踏襲)	材料調達済

3. 木彫刻の進捗状況②（国へ引渡し済みの制作物）

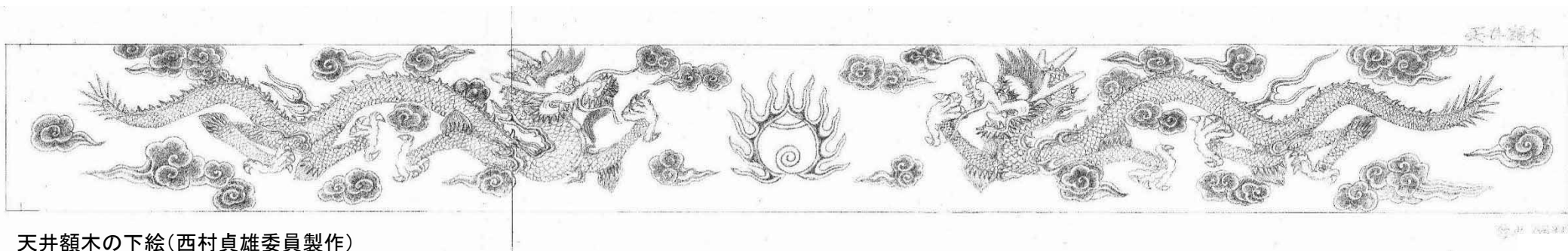
- 【No.27】天井額木は、製作を終え、国へ引き渡し済みである。

【No.27】天井額木

- 2階御差床の柱をつなぐ部材で、裏表両面に、火焰宝珠と阿吽の龍、瑞雲の彫刻が施されている。
- 8月7日に国へ引き渡し済み。引き渡しの様子はマスコミ公開された。



国営沖縄記念公園(首里城公園):正殿2階御差床 ※平成復元時



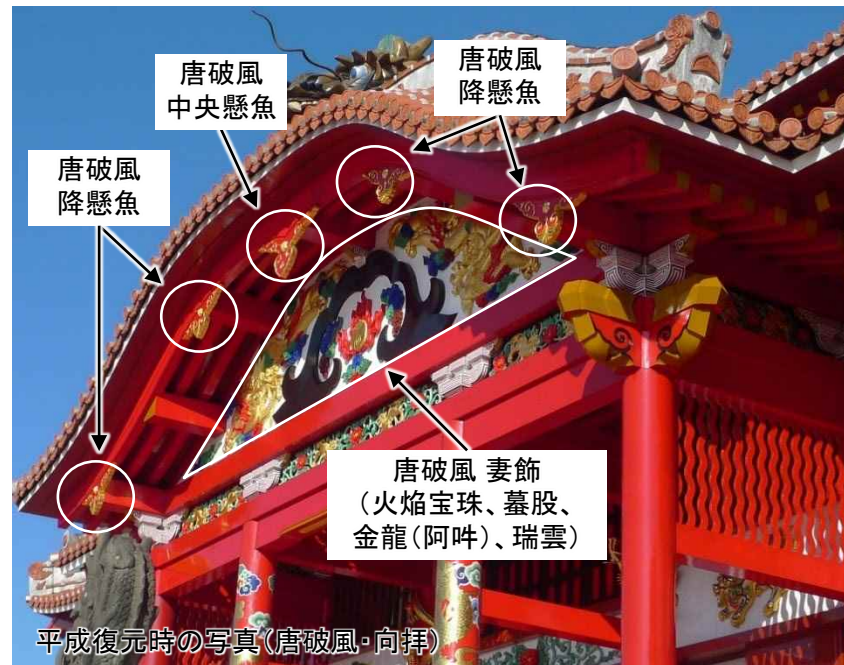
3. 木彫刻の進捗状況③ (製作作業中の制作物)

【No.11】 唐破風 妻飾 (火焰宝珠、墓股、金龍、瑞雲)

- 唐破風妻面の彫刻物で、中央に火焰宝珠と墓股、それを取り囲む阿吽の龍、瑞雲の彫刻が配置されている。
- 平成復元時の下絵をベースに、鎌倉芳太郎高精細写真(県立芸大所有)を参考にしながら、令和の復元の屋根形状にあわせて下絵を修正した。現在、粘土模型を製作中。
- 墓股は、鎌倉芳太郎高精細写真や森政三古写真(沖縄美ら島財団所有)の分析により、木取りや彫り方に新たな知見を得た。現在、木製模型等により彫りの深さ等を検討中。



妻飾下絵の監修の様子(2023.12/6撮影)



【No.12】 唐破風 懸魚

- 唐破風の懸魚(中央懸魚、降懸魚)は、第9回彫刻WGで下絵を確認済み。
- 材料調達済み。

【No.13】 入母屋破風 懸魚

- 入母屋破風の懸魚は、第8回彫刻WGで下絵を確認済み。
- 現在、彫刻作業中。



3. 木彫刻の進捗状況④ (製作作業中の制作物)

【No.14】 向拝 透欄間 (牡丹唐草、獅子)

- 向拝を飾る透欄間 (正面3枚、南殿側1枚、北殿側1枚) で、牡丹・唐草・獅子の透かし彫りが両面に施されている。
- 平成復元時の踏襲を基本とし、令和の復元の斗拱等の形にあわせて下絵を調整中。
- 材料調達済み。



国営沖縄記念公園(首里城公園): 正殿唐破風 ※平成復元時

【No.16】 向拝奥の彫刻物 (金龍)

- 向拝の彫刻物で、柱に巻き付く阿吽1対の龍。
- 石膏原型について、吽形は平成復元時の原型を修復して活用し、阿形は吽形及び平成時の写真等を参考に新規製作した。
- 令和5年10月に木取りを実施。現在、粗彫りを進めている。



木取りの調整の様子 (奈良県 吉野銘木にて/2023.10.21撮影)



粗彫りの様子(2024.2.22撮影)



金龍 石膏原型(2023.8/9撮影)



【No.15】 向拝奥の彫刻物 (牡丹に獅子、唐草)

- 向拝の彫刻物で、平成復元時は牡丹唐草の彫刻であったが、新たな知見として、牡丹の数は3つで阿吽1対の獅子も意匠に含まれていたことが示された。
- 古写真の分析を踏まえて新たな下絵を製作。彫刻を担当する製作技術者でFRP原型を製作し、令和6年1月末に監修で確認した。
- 材料調達済み。



【No.17】 向拝奥の彫刻物 (獅子)

- 向拝の彫刻物で、阿吽1対の獅子。
- 新たな知見として、獅子の大きさや姿勢が異なることなどが示された。
- 古写真の分析や、伝世品である円覚寺欄間羽目板などの事例調査を踏まえて、新たな下絵を製作。また、粘土模型を製作し、令和6年2月下旬に監修するなど、造形について検討中である。
- 材料調達済み。



3. 木彫刻の進捗状況⑥（製作作業中の制作物）

【No.24】 2階 御差床 須弥壇（高欄含む）

- 2階 御差床の須弥壇（高欄含む）。
- 新たな知見として、高欄の親柱及びしまこ柱の形状が異なることが示された。その他、高欄の擬宝珠や握り蓮のモックアップを製作して、第9回彫刻WGで確認済み。
- 材料調達済み。



親柱 足元のモックアップ
(2023.11/1撮影)



しまこ柱 足元のモックアップ
(2023.11/1撮影)

【No.25】 2階 御差床 龍柱

- 須弥壇の高欄の一部となる阿吽
一對の龍柱。
- 平成復元時の石膏原型を参考にしつつ、小龍柱と同じく、胴体のねじれを反映させた石膏原型を製作した。
- 現在、須弥壇との仕口等加工中。
- 検討過程において、古文書の分析により、とぐろ巻が無かった可能性が示唆されたが、令和の復元として詳細な造形とするには根拠資料等が不足していることから、将来的な検討課題として記録することを確認した。



御差床 龍柱石膏原型
(2023.10/12撮影)



国営沖縄記念公園(首里城公園): 正殿2階御差床 ※平成復元時

3. 木彫刻の進捗状況⑦（製作作業中の制作物）

【No.26】 2階 御差床 羽目板

- 須弥壇の羽目板（正面6枚、両側面3枚ずつ、計12枚）で、葡萄栗鼠文様が施されている。
- 平成復元時を参考にしつつも、栗鼠の姿勢等について、琉球漆器（食籠など）に根拠を求める形で新たに下絵を製作した。
- 材料調達済み。
- 現在、試し彫り等を実施中。



漆器事例調査の様子(2024.2/1撮影)



国営沖縄記念公園(首里城公園):正殿2階御差床 ※平成復元時

【No.28】 2階 内法額木

- 2階 御差床の長押の上に設置される彫刻物で、火焰宝珠、阿吽の龍、瑞雲が3連に並んでいる。
- 平成復元時の下絵をベースに、他に御差床に設置される制作物の【No.27】天井額木や【No.32】1階 御差床 垂飾のWG部会での検討状況を踏まえて、龍の腹板の表現や、火焰宝珠の形態、龍の後ろ脚の形などを修正した下絵を新規製作した。



内法額木下絵修正の様子(2024.2/1撮影)

4. 令和6年度の彫刻WG部会の主な検討内容

- 彫刻WG部会における次年度の主な検討内容等は、下表のとおりである。

分類	検討・実施内容	制作物名称
石彫刻	引き続き造形を検討（石膏原型の監修）する制作物	【No.3】大龍柱 【No.6】石高欄及び登高欄 親柱上の獅子
	適切に製作が進められているか監修を行う制作物	【No.4】大龍柱の台石 【No.5】小龍柱 【No.7】石高欄（親柱/束石/地覆石/羽目石/笠石） 【No.8】持送石 【No.10】石階段（正面階段1、階段2,3,5,6,7,8）
木彫刻	引き続き造形を検討（下絵等の監修）する制作物	【No.11】唐破風 妻飾（火焰宝珠、蟬股、金龍、瑞雲）
	適切に製作が進められているか監修を行う制作物	【No.12】唐破風 懸魚 【No.13】入母屋破風 懸魚 【No.14】向拝 透欄間（牡丹唐草、獅子） 【No.15】向拝奥の彫刻物（牡丹に獅子・唐草） 【No.16】向拝奥の彫刻物（金龍） 【No.17】向拝奥の彫刻物（獅子） 【No.24】2階 御差床 須弥壇（高欄含む） 【No.25】2階 御差床 龍柱 【No.26】2階 御差床 羽目板 【No.28】2階 内法額木
	彫刻での造形検討の際の調査等で確認できた塗装・彩色の知見を整理し、国へ情報共有する制作物	【No.11】唐破風 妻飾（金龍など） 【No.15】向拝奥の彫刻物（牡丹に獅子・唐草） 【No.17】向拝奥の彫刻物（獅子） 【No.26】2階 御差床 羽目板